

貸借対照表

(平成25年3月31日現在)

東京都北区王子5丁目5番1号

株式会社 なとりデリカ

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	251,025	流動負債	195,998
現金及び預金	112,553	買掛金	67,462
売掛金	117,753	リース債務	2,110
商品	2,715	未払金	86,278
製品	5,361	未払費用	11,508
原材料	5,045	未払法人税等	4,424
貯蔵品	225	未払消費税等	7,716
前払費用	5,781	未払事業所税	920
未収入金	1,589	賞与引当金	15,576
固定資産	27,314	固定負債	5,147
(有形固定資産)	17,360	リース債務	2,835
建物	935	長期預り保証金	1,500
機械及び装置	6,670	役員退職慰労引当金	812
工具、器具及び備品	4,809		
リース資産	4,945	負債合計	201,145
(無形固定資産)	620	(純資産の部)	
電話加入権	620	株主資本	77,193
(投資その他の資産)	9,333	資本金	10,000
長期前払費用	7,639	利益剰余金	67,193
敷金及び保証金	1,694	その他利益剰余金	67,193
		別途積立金	225,000
		繰越利益剰余金	△ 157,806
		(うち当期純利益)	20,082
		純資産合計	77,193
資産合計	278,339	負債純資産合計	278,339

※第34期

個 別 注 記 表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

該当事項はありません。

(2) たな卸資産の評価基準及び評価方法

総平均法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）によっております。

(3) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産（リース資産を除く）……………定率法

ただし、平成 10 年 4 月 1 日以降に取得した建物（建物付属設備を除く）については、定額法によっております。

また、平成 19 年 3 月 31 日以前に取得したものについては、償却可能限度額まで償却が終了した翌年から 5 年間で均等償却する方法によっております。

（会計方針の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、当事業年度より、平成 24 年 4 月 1 日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

② 無形固定資産（リース資産を除く）……………定額法

ただし、ソフトウェア（自社利用分）については、社内における利用可能期間（5 年）に基づく定額法によっております。

③ リース資産……………リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法

なお、所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が平成 20 年 3 月 31 日以前のリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

(4) 引当金の計上基準

① 賞与引当金……………従業員に対して支給する賞与の支出に備えるため、支給見込額に基づき、当事業年度に見合う分を計上しております。

② 役員退職慰労引当金……………役員退職慰労金の支出に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

(5) その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理……………消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

2. 貸借対照表に関する注記

(1) 有形固定資産の減価償却累計額	68,899 千円
(2) 関係会社に対する金銭債権及び金銭債務	
短期金銭債権	2,296 千円
短期金銭債務	<u>34,113 千円</u>
合計	<u>36,409 千円</u>

3. 損益計算書に関する注記

(1) 関係会社との取引高	
① 営業取引による取引高	
売上高	6,508 千円
仕入高	247 千円
支払賃借料	26,335 千円
経営指導料	3,000 千円

4. 株主資本等変動計算書に関する注記

該当事項はありません。

5. 1株当たり情報に関する注記

(1) 1株当たり純資産額	7,719 円 37 銭
(2) 1株当たり当期純利益	2,008 円 27 銭
(注) 1株当たり当期純利益の算定上の基礎	

損益計算書上の当期純利益	20,082 千円
普通株主に帰属しない金額	— 千円
普通株式に係る当期純利益	20,082 千円
普通株式の期中平均株式数	10,000 株

6. 重要な後発事象に関する注記

該当事項はありません。